回覧
室長 補佐 係 相談長

8-1 NO.5-6
第11回婦人週間

austria

日本婦人へのメッセージ

○ オーストリヤ人民党」 オーストリヤ婦人運動連合会

会長 ロラ・ゾラール女史

外務部長 ギルダ・ゲッツェン女史

遠くアジアの東に位する日本と、ヨーロッパの中心にのる小国オーストリアとの親交は、わが国の大臣が皆様の国、親切な日本を訪問して以来一そう深められました。

大陸と大陸とが絶え間なく親交を深めて行くためには、何よりも私達婦人が高い志の源泉ではかりたいものと思います。それにより、全世界を動かす大問題も、平和的な解決に導くことができましょう。

オーストリヤでは今年婦人が政治的権利をえてから四十年目の記念日を迎えます。だから多く経験も豊富であつたこの期間は、どんな努力というものも価値があることを教えてくれました。

今日、皆様のお祝いの会にあたり、皆様が立てられた目標を達するため、専心努力され、国民の国家に対する共同責任を担んで分ち、かつそれだけの能力のある新しい婦人と母親の世代と業がれるようにと祈つて居ります。婦人週間の行事が成功のうちに終ります様お祈り致します。

佐賀婦人少年室
34. 4. 9
収佐婦第195号

Cam

○カンボジア婦人一同

日本の第十一回婦人週間にさいし、カンボジア婦人一同は、日本の姉妹に対し、心からの慰問を送り、妻として市民としての責任を遂行して成果をあげられるようお祈り申し上ます。

○カナダ全国婦人会

会長　レックス・イートン夫人

太西洋から太平洋沿岸まで五十三市の地方支部を有す。カナダ全国婦人協議会は、日本の皆様の婦人週間に、心から御挨拶を送り致します。

私達は、皆様方が国家の公的な仕事に関心をもつてあられることを嬉しく思い、家庭と国家の最高の価値を守るための水準と原則を推進するために、皆様方が世界中の婦人との協力を望んで居られることを喜びとするものであります。

ca

○カナダ大学婦人協会

婦人の地位全国委員会委員長　マーガレット・E・マクレラン女史

カナダ大学婦人協会は、再び日本の第十一回婦人週間に挨拶をお送りすることを光栄に思います。

カナダに居ります私達は、昨年、日本を訪れた人達から日本婦人が短期間になしとげた進歩についての綜合的な報告を聞きました。

先般の国連婦人の地位委員会で、谷野局長が副議長に選出されたのは同局長が日本の婦人の地位向上に貢献されたことの目に見えた證據であります。

谷野局長に対し、また日本の皆様に対し、心からお祝いを申し上る次第であります。

○カナダキリスト教婦人矯風会

会長　イザベル・A・ペリゴウ夫人

カナダキリスト教婦人矯風会は、日本の皆様の社会、教育、政治等の分野における立派な業績に対し、心より讃辞を呈するものであります。

「個人の自由と責任が集団をそだてる」というテーマにより四月十日から行われる第十一回婦人週間は、世界中の婦人の支持をうける価値があると思います。

カナダの婦人達は日本の進歩のために働かれる皆様の御活動に大きな関心を寄せております。今までの成果が励ましとなって、日本の婦人の福祉のため、更に各国婦人の相互理解のために、より大きな目標が立てられますよう、会議の御成功をお祈り致します。

Ca.

○カナダYWCA
会長　ライリー・スミス夫人

一九五九年四月十日から始まる第十一回婦人週間にさいし、カナダYWCA会員一同より挨拶を申上げます。
「個人の自由と責任が集団を育てる」という今年のテーマはまことに興味ある適切なものだと思います。
婦人週間が成功され、実り多いものとなりますようお祈り致します。

○ セイロンYWCA

会長　L・G・ルース夫人

今日のような時に、婦人週間のテーマとして、この度えらばれたもの程適切なものはないと思います。

戦いの勝負がきまるのは、人間の心の中であり、そこにこそ本当の平和の樹を育てることができるのです。

したがって各国が自由な思想と自由な意志とを持った個人が、自分でその所属する大小の集団の問題に対して正しい決定をすることができるよう、また、その責任を喜んで果すことができるように育成することを、第一の関心事とすることは極めて重要であります。そうする事によってのみ、すべての人々の進歩と福祉と幸福とが達成されるのであります。

第十一回婦人週間が、日本の国をこの目的に向って更に前進させることを信じて疑いません。

Fin

○フィンランド全国婦人協議会

会長　マルギット・ボルグ・サンドマン女史

第十一回婦人週間のお知らせ有難うございました。

家庭に職場に国体に地域社会にありて、婦人が個人の自由と責任を守るよう促進することは常に重要な問題であります。フィンランドでは一九〇六年に婦人が参政権を獲得した時以来、法律によって婦人が「責任ある市民」であるとされてありますが、まだまだ私達は真実の市民ということの意味を全うするために、より一層深く考えて進歩していく必要があります。物質的にも精神的にも婦人は各自り国に貢するところが大きく、国家の将来は、婦人の特質と集団活動に負うところが大きいと信じます。

○ ドイツ大学婦人連盟

会長　ドクトル・マルガ・アンデルス女史

一九四九年の参政権獲得を記念して行われる四月十日よりの婦人週間のお知らせ有難うございます。週間中に行われる皆様の行事に対して敬意と尊敬とお送り致します。日本を訪問したマグナ・シュタウディンガー博士の解剖学的日本大学婦人協会が友情と相互理解のしるしとして同博士に下さった美しい絵画を通して私達大学婦人協会は日本で行われていることすべて、特に婦人の地位向上のために行われていることに対して深い興味をもつております。八月にはヘルシンキで幾人かの日本代表にお逢いできることを希望して居ります。

9. ドイツ フライブルグ大学婦人協会

理事 マグダ・スタウディンガー女史

こんにち程、人類が強い力を得たことはありません。人類は石炭、石油そして現在は原子力をも利用することによって生ずる技術エネルギーという手段により、世界を支配しています。人間の魂だけがこの巨大な力を統制することができるのです。

婦人は特にこのことに留意しなければなりません。生命を与え、生命とその成長と安全とを保護するものは婦人であります。私達は技術の支配する世界に生きているのですから、婦人はもっと技術につそ関心をもつべきで、たとえばエネルギーや資源や金属などを家事の処理や若人、青少年の世話のために利用するべきであります。これらのものが婦人の手にかゝれば祝福すべきものとなりましょう。多分婦人が技術とその正しい利用を要求すれば、世界が最も必要とし、又、最も秀れた人達が獲得のために戦ってきたところのものを得ることができるでしょう。ばらばらの力で世界を破壊する代りに技術と倫理を結びつけて人類の福祉をはかることができるでありましょう。

new

○ニュージーランド全国婦人協議会

書記　メリー・ハイマン夫人

ニュージーランド全国婦人協議会は、日本の婦人週間に心からの挨拶をお送り致します。

私達は日本の皆様が自由と責任をもつ市民という目標に向って進歩を続けておられること、殊に婦人が地域社会の生活に、その運営に、重要な役割を演じるよう育成する努力をしておられることを知って本当に嬉しく思います。

今年のテーマは実に興味ある力強いテーマだと思います。なぜならば、自由とは私達が毎日の生活のあらゆる局面において極めて必要なものであり、それとともに、個人が成功するためには負わねばならない義務と責任が伴うからであります。責任とは、両親が子供達によき市民となるための正しい原則を教える家庭においてはじまり、子供は人生における行動を律するためそれらの道徳的原則を受け入れるようしつけられ、それがひいては社会全体の利益となるのであります。皆様の今年のテーマは個人の責任感を育てることを目的としているのですから、尚、その御努力が実るよう切にお祈り致します。私達は皆様の御発展に対し大きな関心をよせております。

○ ポーランド婦人連盟

ポーランド婦人連盟中央委員会は、参政権獲得の記念日に心からの挨拶を送り、日本婦人のために、また世界の平和の維持のためにあらゆる創造的な力が充分に発揮されますようお祈り致します。

○ イギリス全国婦人協議会

書記　ノラ・ニコルス夫人

四月十日より開催される婦人週間に、イギリス全国婦人協議会は心からの挨拶をお送り致します。私達の会長、委員および各会員は、皆様の将来の業績に大きな関心をもっております。

○アメリカ合衆国労働省婦人局長　アリス・K・レイポルド女史

私達婦人局員一同は、日本の皆様に対し、婦人週間の成功を心からお祈り致します。

私達は、皆様が日本の市民として初めて参政権を行使されて以来示された進歩に対してお喜びを申し上げます。

「市民の権利」という言葉は、「その責任」という言葉を伴わなくては無意味であります。自由国家の市民である私達は、自由であればあるだけより一層地域社会や国家の問題に対する深い責任感を育て常に自由を保持して行かねばなりません。

婦人として、私達は家庭、学校、国体等において、次の世代を責任感ある市民に指導、育成するというすばらしい機会を持っております。一九五九年の婦人週間がすべての日本の婦人や外国の私達にとって、自由国家の自由な市民としての責任を充分に果すための刺戟となりますよう希望いたします。

○ アメリカ合衆国保健教育福祉省

次官 バーサ・S・アドキンス女史

一九四六年に日本婦人が参政権を獲得したことを記念して、労働省主唱により、第十一回婦人週間が開催されることをお知らせいただき有難うございました。この行事が成功なさるよう心からお祈り申上げます。

労働省婦人少年局がその業務に関連して計画された「集団における個人の自由と責任の育成」についての行事を興味深く拝見致しました。御承知の通り、私も婦人達と一緒に公共の仕事をすることに関心をもっております。

婦人は婦人に特に関心あるいろいろの分野において世界中の婦人の間に理解を広めるという重い役目をもっていると思います。世界的な仕事に関連して婦人が負いつゝある責任は益々増大しており、肯定的な経験を通して御承知のとおり、これこそ婦人達の能力をためす本当の機会であります。

○アメリカ合衆国前労働省婦人局長　フリーダ・S・ミラー女史

四月十日より始まる第十一回婦人週間にお祝いを申し上ると同時に、この週間が常に成長され、力強いものであります様お祈り致します。

この度のテーマは気力にあふれた適切なものであると思います。「自由で責任ある個人」は、確に世界中の家庭に職場に団体に、そして地域社会にとって、世界の各地にいる私達みんなの將来の福祉のために緊急に必要とされております。自由と責任を持った個人のみが、行為する前にその行為の結果を慎重に考慮します。そしてそう人達のみが今日の世界の問題を扱うにあたって正義と確信をもって行動し、そうすることによって、正当で有効な人間関係を打ちたて得ると信じます。

もし成人人口の半分しかそうした責任ある行為をしないとしたら――そして婦人がその中に含まれないまたは婦人がその半に入らないとしたら、世界に相互理解と正当な行為と相互の信頼とを発展させ得るという会世界の希望は達成の望みがうすくなるでありましょう。このためには、男女の最も大きな努力を必要とするのであります。

皆様は、日本の婦人のためばかりでなく、個人の自由と責任を育てようと努力する婦人達全部に対して役に立つと居られるのであります。過去十一年間に亘って獲得された業績が將来も力強く効果を上げてゆくことになります様に祈ります。

○アメリカ合衆国民主党全国委員会

婦人部　ケティー・ローチハイム女史

一九五年の婦人週間のお知らせをいただきまして有難うございました。

私は日本の婦人達が市民としての自由と責任の育成という重要な問題を同じ考え合うために開かれる会議に対し心より共鳴するものであります。このような目標を掲げることは世界中の民主的な婦人にとつての共通の絆であり更にそれは恒久平和への近道であると信じます。

○ キャリー・チャップマン・キャット記念財団

会長　アンナ・ロード・ストラウス女史

私達と共通の目標を持って進歩を續けて居られる日本婦人の皆様に挨拶を申し上る事を悦しく思うものであります。

婦人週間のテーマ「集団における個人の自由と責任の確立」は同時に私達の目標でもあります。これらの目標に対して、両国において、多くの進歩がなされつつあることは、大変悦しいことであります。

皆様のすばらしいお仕事がますます成功をおさめられますようお祈り致します。

○ アメリカ合衆国全国婦人協議会、

会長、ウィリアム・バークレー・パーソンズ夫人

日本の婦人の最初の参政権行使を記念して四月十日より行われる第十一回婦人週間のお知らせをいたゞきまして心よりおよろこびを申上げます。

自由と責任をもつ個人を育成することを特に強調することは大変よいことで特にこの点に関して婦人に家庭や団体を通じてのみならず地域社会の活動にも参加するよう奨励することは大変結構なことだと思います。このような運動は私達こそやるべきであり、又やれば効果があがると思われますので日本の婦人少年局が提唱してこの計画を立て全国的に実施されることはなお感銘深く感じられます。私達は皆様の計画のニュースをこの団体の全会員に知らせたいと思っております。

○アメリカ合衆国汎太平洋東南アジア婦人協会

委員長　エドウィン・F・スタントン夫人

アメリカ合衆国汎太平洋東南アジア婦人協会は、第十一回婦人週間にさいし、心から御挨拶をお送りいたします。

日本の婦人の地位向上のために切き成果を上げられた皆様の素晴しい御努力は、実に立派な価値あるもので、汎太平洋東南アジア婦人協会の会員は、その努力に対し、心からの賞讃を致しております。

私達は皆様の今までの業績に対してお喜びを申し上ると共に、婦人の参政権獲得を記念する婦人週間に対しお祝いを申し上ます。「個人の自由と責任が集団をそだてる」は本当に御婦人テーマであります。私達も皆様の興味深い週間行事に参加できたらよいのにと思います。

日本の婦人の皆様によろしくお伝え下さい。

○カリフォルニア サン・ホセ市 YWCA

委員長 ヒルスレイ・ハント・クーパー女史

婦人週間のお知らせをいただき有難うございました。今年の「個人の自由と責任が家庭を育てる」というテーマはまことに気力にみちた興味のあるテーマであり、多くの婦人の活潑な参加を促すことと信じます。

私達はYWCAの婦人達に皆様の運動をお伝え致します。何人かはきっとメッセージをお送りすることと思います。

皆様の運動の成功をお祈り致します。

○ ソヴィエト婦人委員会

ヴェーラ・クースィチーナ女史

婦人週間の成功を心からお祈り申上げます。

○国際有職婦人連合会

副議長　ジーン・M・ランダール女史

第十一回婦人週間に御挨拶をお送り致します。私達は短期間のうちに日本の人の示された進歩を賞讃し皆様のすばらしい御成果に対しお喜びを申し上げたいと思います。

私は今年の全国婦人会議にかかれているテーマが「社会に対する個人の責任の認識」を促すものであることに関心をもつております。会議員の討議は、社会全体に対して大きなよい影響を与えるでありましょう。

全国婦人会議がそれに参加する方々全部にとって実り多いものであります様お祈りいたします。